

高田松原津波復興祈念公園 被災3県で初の起工式を開催

都市計画課

国、県及び陸前高田市の連携により整備を予定している「高田松原津波復興祈念公園」について、国の工事着手に伴い、平成 29 年3月5日（日）に国、県及び市の共催で起工式を開催しました。

起工式は、公園整備を予定している陸前高田市気仙町の旧道の駅・タピック 45 付近で行われ、主催者である田中国土交通副大臣、達増知事、戸羽市長のほか、務台復興政務官をはじめ、多数の御来賓及び関係者の皆様に御出席いただきました。

出席者全員で東日本大震災津波の犠牲者へ黙祷をささげた後、津波により被災した震災遺構のタピック 45 を背景に代表者による鍬入れが行われました。

また、式の最後には、気仙町けんか七夕太鼓保存会による和太鼓の演奏が披露され、復興への願いを込めた力強い音色が会場に響き渡りました。



国、県、市等関係者による鍬入れ



気仙町けんか七夕太鼓保存会による和太鼓演奏

高田松原津波復興祈念公園とは東日本大震災津波が、広域にわたり甚大な被害が生じた未曾有の大災害であることに鑑み、復興の象徴として、犠牲者への追悼と鎮魂や、日本の再生に向けた復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すこと等を目的として整備するもの。

国、県及び陸前高田市が整備を行い、国営追悼・記念施設(仮称)及び周辺区域は平成 32 年度末の供用を予定しています。



国営追悼・祈念施設(仮称)及び周辺区域の鳥瞰イメージ